

特定保健用食品の学術的情報に対する学生の認識

2082005 井上暢佑 2082303 穴吹彰子

指導教員 岡村浩嗣

キーワード：トクホ、学術的情報

<緒言>

特定保健用食品(トクホ)の食用油の科学的根拠を誤って認識している学生は多い(1)。この原因として、トクホに表示されている科学的根拠の情報が消費者に理解しにくいことが考えられた。そこで、学生がトクホに関する広告や文献情報から、トクホの科学的根拠をどのように理解・認識するのか調査した。

<方法>

本学学生 344 名(2~4 年生、男 249 名、女 95 名)にトクホの広告及び学術論文の一部を提示し、提示されている内容の理解度などを調査した。

<結果>

体脂肪を蓄積しにくい食用油「エコナ」の広告に「新しい提案」として示された『体脂肪が正常な方、脂肪の摂取がある程度必要な育ち盛りのお子さんにも、通常の食用油と同様の栄養源になります』が、体脂肪が正常な人に対してどんな意味があると思うか選択させたところ、203 名が「普通の食用油と同じ栄養効果を持つ」、153 名が「体脂肪の蓄積を抑える効果を持つ」、27 名が「何を提案しているのかわからない」と回答した(図 1)。この「新しい提案」の子どもにとっての意味についての回答も同様の傾向だった(図 2)。

「ヘルシーリセッタに摂取の目安量があることを知っていましたか?」という質問に対して、90%が知らなかったと回答した(図 3)。目安量(14g/日)を摂れば効果があると全体の約 50%の人が回答したが、約 30%の人はわからないと回答した。31 名が自由記述で、内容が難しくてよくわからない(15 名)、対象者の説明が不十分である(3 名)、効果があるのかどうかわからない(2 名)と回答していた(図 4)。

「茶カテキン類は普通体重者に抗肥満作用が低かった」という研究結果については、27%にあたる 93 名が「茶カテキンは普通体重の人や痩せている人には体脂肪蓄積を抑える効果がない」を選択したが、76 名は「普通体重の人や痩せている人にも体脂肪蓄積を抑える効果がある」を選択した。31 名は「内容が難しくてわからない」を選択した(図 5)。22 名が自由記述に回答し、「わからない」が 4 名、「効果があるのかかわからない」が 3 名、「普通体重の人においてはどうかかわか

らない」が 2 名、「どのような作用なのか知りたい」が 1 名だった(図 6)。

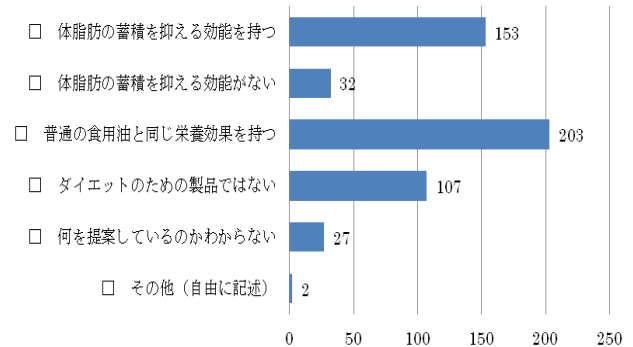


図1 体脂肪が正常な人に対するエコナの「新しい提案」は、どれを意味していると思いますか?

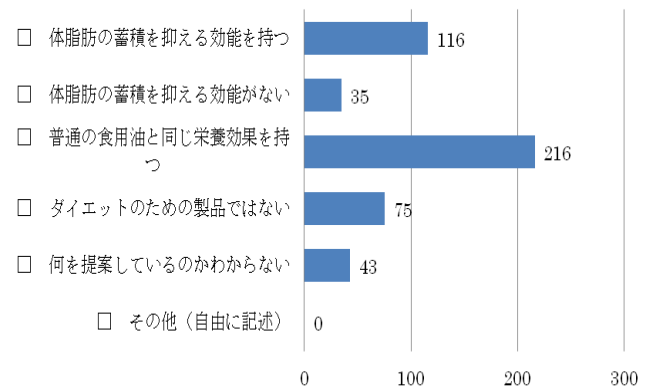


図2 子供に対するエコナの「新しい提案」は、どれを意味していると思いますか?

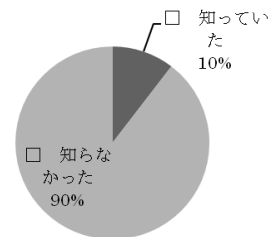


図3 「ヘルシーリセッタ」に摂取の目安量があることを知っていましたか?

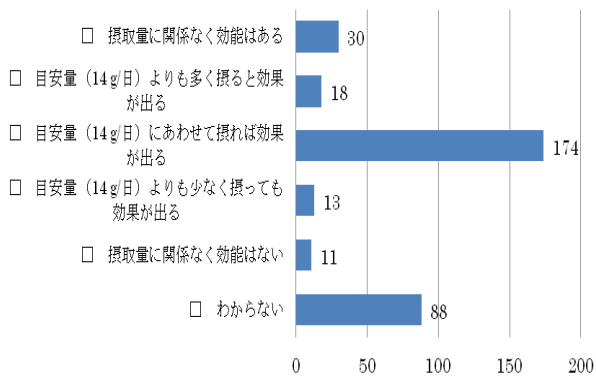


図4「ヘルシーリセット」が効能を発揮するためには、どのくらい摂取する必要があると思いますか？

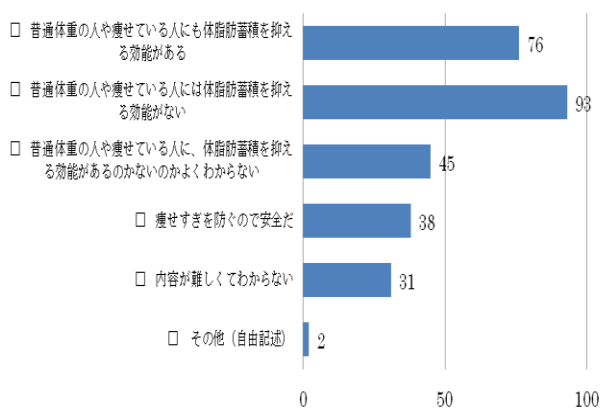


図5「茶カテキン類は普通体重者に抗肥満作用が低かった」という結果をどのように解釈しますか？

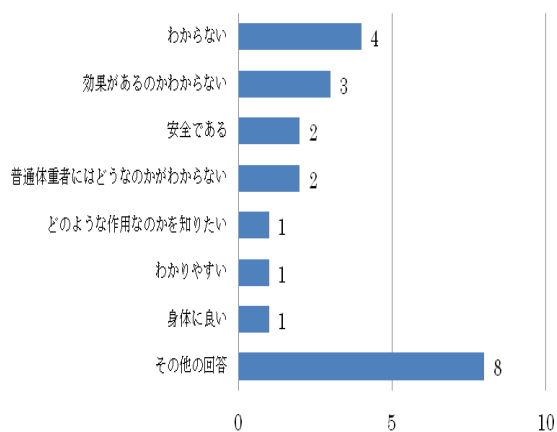


図6 この論文を読んで感じたことがあれば、自由に書いてください

<考察>

エコナの広告文の内容では、体脂肪が正常な人に対しては「通常の食用油と同様の栄養源になります。」と記載されていることから、体脂肪蓄積を抑える効能がないということになる。しかし、体脂肪が正常な人にも「体脂肪蓄積を抑える効能をもつ」と誤った回答をしている人は40%いた。したがって、この広告文は誤った認識や過度の期待を与えてしま

う可能性があると考えられる。

ヘルシーリセットの論文は、目安量（14g/日）を摂れば効果があり、目安量より多く摂取しても効果がないという内容である。これに対して「目安量にあわせて摂れば効果が出る」と回答した50%の学生は効果が発揮される摂取量を正しく理解している。しかし、「摂取量に関係なく効能はある」「目安量より多く摂ると効果が出る」「目安量よりも少なく摂っても効果が出る」「摂取量に関係なく効能はない」と20%が回答し、30%はわからないと回答していた。このことから、すべての人が理解できないというわけではないが、内容が難しく、理解できない消費者がいることが推察される。

「茶カテキン類は普通体重者に抗肥満作用が低かった」という結果に対して、27%が「普通体重の人や痩せている人にも体脂肪蓄積を抑える効能がない」、22%が「普通体重の人にも効能がある」、13%が「普通体重の人や痩せている人に体脂肪蓄積を抑える効能があるのかわからないのかよくわからない」、11%が「痩せすぎを防ぐので安全だ」、9%が「内容が難しくわからない」と回答している。各項目に回答が分散していることから、論文を読んだ学生が様々な受け取り方をしていることが認められた。したがって、この論文の内容は学生にとってわかりにくく、普通体重者に対する効能の有無を判断しづらかったといえる。

以上のように、トクホの科学的情報は正しく認識されていないことが多かった。広告や学術情報の内容には、理解しにくく誤った認識を与えるような内容があるのではないかと考えられる。トクホには目安量や対象者を具体的に記載するなど、情報提供の方法を工夫する必要がある。

<参考>

(1) 鈴木ら：『特定保健用食品の科学的根拠と生活科学的根拠の乖離』第65回日本栄養・食糧学会要旨集 3D-15p (2011年)